
リスクセンス推進研究会 活動のご報告

2021年2月16日
立石裕夫

発表内容

1. リスクセンス診断支援企業の進捗状況
2. リスクセンス推進研究会 定例会議の開催
3. 三菱UFJ信託財団からの助成研究

1. リスクセンス診断支援企業の進捗状況（12月度報告の以降）

支援案件は次の3件

- ・ D社 （第2回 699人）
- ・ A社 （第2回 249人）

- ・ K社（205人）

受検結果解析、報告書作成
報告書作成、フォロー研修（3月中旬より実施）
フォロー研修の講師 担当予定
報告書提出

リスクセンス研究会から支援依頼の追加案件があります。
DF技術部会の皆様のご加入をお願いします。

2. リスクセンス推進研究会 定例会議の開催

1) 開催日時 : 毎週金曜日 10:00から Zoomにて

2) 検討内容

- ・ **組織のリスクセンス度診断の設問の見直し（三菱UFJ信託財団からの委託案件）**

 - リスクセンスの定義の見直し

 - 今までの診断結果の実績に基づくLCB11項目設問の見直し

- ・ **ISOとリスクセンス診断システムとの違いの検討**

 - 背景 ISO 2015年の改定時に追加された次の項目がRS診断システムと密接な関係がある。

 - － 「4.1 組織及びその状況の理解」

 - － 「6.1 リスク及び機械への取り組み」

 - ISOとRS診断システムの違い、RSのメリットを説明できる資料の作成

 - (ISO認証取得企業3社と検討開始)

 - 骨子

 - － ISOは個別的な不祥事発生原因を分析し、この原因を避けることでの再発防止策

 - これに対して、RSは事故を起こさない組織の条件（LCB11項目）による事故不祥事の防止

 - － RS診断システムのメリット（不祥事防止、公になることの未然防止、予兆管理、他）

3. 三菱UFJ信託財団からの助成研究の支援

助成金額 170万円（2020年度）

担当作業 組織向けのリスクセンス診断シートの見直し作業
個人向けのリスクセンス診断シートの見直し作業

2021年3月末を目標に作業を進行中

多くの皆様のリスクセンス推進研究会へのご加入をお待ちしています。